

# 地域サポートアシスタント（駅ボランティア）スタートアップガイド（概要）

## 地域サポートアシスタント（駅ボランティア）とは

- 主に鉄道駅において、**移動困難者※**を見守り、**安全の範囲内**で支援する取り組み  
※機能障害を持つ人、高齢者、妊産婦、ベビーカー利用者、外国人など
- 実施している駅の実情に合わせて**様々な形態**で活動中  
例) 普段の通勤時に活動、近隣の大学から参加者を募集



学生が制作した周知ポスター

## 地域サポートアシスタント導入のポイント

### ◆ 地域（自治体、学校、ボランティアセンター）と連携

鉄道事業者だけでなく、ボランティアの管理・運営のノウハウや、関係団体とのネットワークがある**地域の団体と連携**することにより、より自由な活動を促す

### ◆ ボランティアの役割の明確化

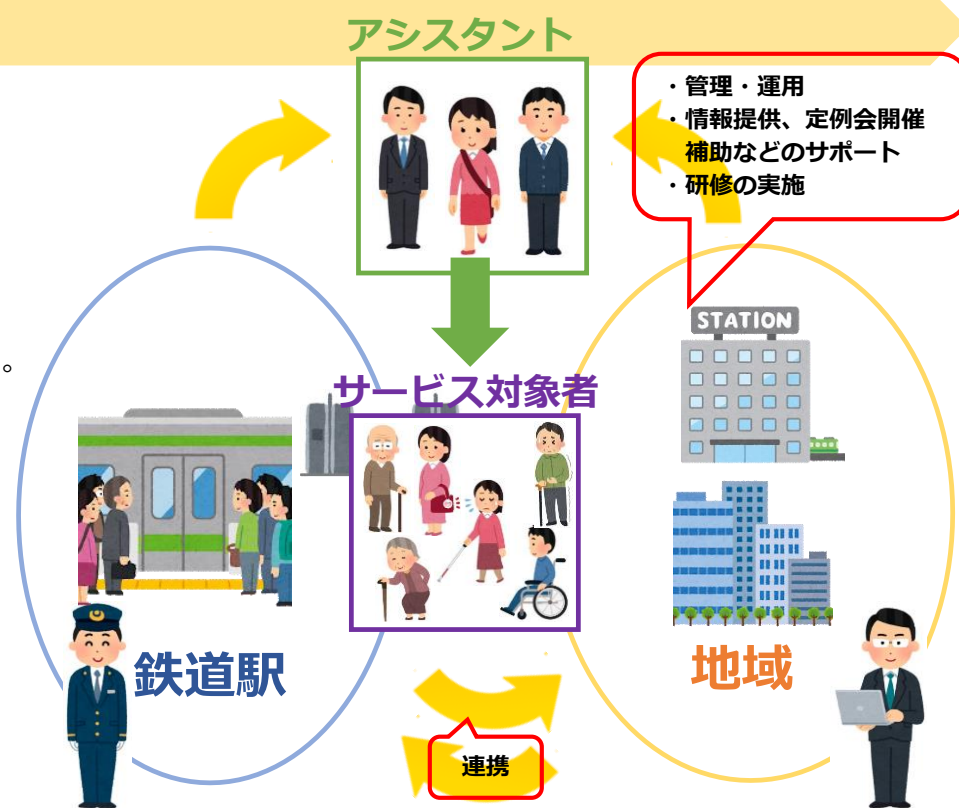
ボランティアに求める役割によって、活動内容・スキルは異なる。**役割を明確にし、役割に応じた取組**を実施することが大切

### ◆ 活動内容、関係者との連携等の準備

活動内容の設定、駅の周辺施設との連携体制の構築、サポートする側もされる側も不安なく活動できる仕組みづくりなど、**導入する駅の実情に合わせて準備**することが必要

### ◆ 研修・育成内容の検討

駅を拠点として地域の「見守りの目」の役割を果たすにあたって必要な「**心のバリアフリーの理念**」「**最低限の移動スキル**」を身に着けるための研修は必要不可欠



さらに、活動を継続させるために **移動困難者、駅利用者に対する周知**、**ボランティア同士の交流の場となる定例会等の開催** 等の実施が効果的